

地下鉄7号線延伸検討委員会 目的と活動内容

討議用資料1-1

〔討議： 委員会の目的、活動内容、流れは？〕

鉄道

延伸線事業化に必要な調査項目のとりまとめ

〔主な調査項目〕

- 整備計画
- 運行計画
- 需要予測
- 事業評価(B/C)
- 採算性 など

特に都市鉄道等利便増進法
(受益活用型上下分離方式)
において求められる項目

- 施設使用料
- 整備主体の採算性 など

需要予測
に反映

許認可の主な要件
B / C 採算性

検証

まちづくり

中間駅周辺まちづくり案 に対する提案・助言

中間駅周辺まちづくり案

- 開発コンセプト
- 開発イメージ
- 開発規模
- 開発コスト
- 鉄道利用効果 等

沿線人口推計
の確認

事業性の評価・検証

鉄道とまちづくりをあわせた評価
事業リスクの検討

必要に応じて
延伸実現に資する提案
(前段階として課題整理)

検討項目	検討項目の詳細	論点	討議用資料1-2
社会・経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口推計 SR沿線開発、SR及び周辺鉄道の乗車人員動向 高齢社会 公共事業(需要予測や事業評価手法の見直し) 東日本大震災 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少下の鉄道&まちづくりのあるべき姿は？ 高齢社会における鉄道の役割は？ リーマンショック・震災等経済情勢は？ 将来人口推計とH22国勢調査の速報値 震災後の鉄道とまちづくりは？ 	
延伸線の意義	<ul style="list-style-type: none"> 検討に至る経緯 延伸線の意義・目的 	<ul style="list-style-type: none"> 延伸線の意義と目的は？ 	
整備計画	<ul style="list-style-type: none"> 地勢、ルート、構造、駅位置 建設費 - 積算内訳 	<ul style="list-style-type: none"> ルートや構造は妥当か？ 建設費の積算は妥当か？ 岩槻駅の位置は？ 	
運行計画	<ul style="list-style-type: none"> 運行計画(快速運転、ダイヤグラム、車両) 運行経費 	<ul style="list-style-type: none"> 快速運転導入の可能性は？ 他路線との競争力は？ 	
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道沿線のまちづくり全般情勢 浦和美園等SR沿線開発状況 中間駅周辺まちづくりイメージ、開発規模、コスト 開発効果を含む沿線の将来人口推計 需要予測に反映させる開発効果 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少局面をふまえているか？ 人口定着の実現性は？ 交流人口は創出できるか？ 需要予測にあたって、開発による人口増加はどの程度見込むべきか？ 	
需要予測	<ul style="list-style-type: none"> 需要予測の前提条件 需要予測の算定(H20PT調査結果によるモデル) 感度分析 	<ul style="list-style-type: none"> 需要予測は適切な手法、かつ、適切なデータに基づいているか？ 	
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 延伸線の費用便益分析 まちづくりと合わせた事業としての評価 	<ul style="list-style-type: none"> B/Cの算定は適切か？基準クリアできるか？ まちづくりとあわせた評価は？ 	
採算性・リスク	<ul style="list-style-type: none"> 営業主体・整備主体のランニングコスト 受益範囲 施設使用料 採算性 事業リスク 	<ul style="list-style-type: none"> 延伸線整備による受益の範囲は？ 施設使用料の設定は？ 採算性は確保されているか？ 延伸線がSRの経営に与える影響は？ 社会情勢、需要増減等の事業リスクは？ 	

地下鉄 7 号線延伸検討委員会設置に関する議会答弁（抜粋）

平成 23 年 2 月定例会 さいたま市長

・・・鉄道調査につきましては、今年度の調査完了を踏まえた上で、平成 23 年度には地下鉄 7 号線延伸に関するこれまでの調査結果について、県・市が共同で取りまとめ作業を行うこととしております。取りまとめの具体的な手順であります。平成 23 年度のできるだけ早い時期に第三者の専門家による検討委員会を設置し、これまでの各種調査結果について精査・検討をしていただく予定としております。その際には、人口減少局面を迎えようとしている中で、鉄道の厳しい事業環境が予想されることから、専門家の目により、このような社会経済情勢を踏まえた事業リスク等についても考慮し、鉄道事業だけでなく、まちづくり事業も合わせた総合的な観点から、最善の事業プランを検討していただく予定であります。

・・・地下鉄 7 号線延伸につきましては、目標としている平成 24 年度末までの事業着手、すなわち都市鉄道等利便増進法に基づく鉄道事業者による申請手続きに入ることを視野に入れ、来年度は重要な年になるものと認識しております。今後、人口減少などに伴う事業採算性の確保という厳しい課題をクリアする必要がありますが、議員御指摘のとおり、市民の地下鉄 7 号線延伸への期待も高まっておりますことから、今後も延伸実現へ向け最大限努力をしてまいります。

平成 23 年 2 月定例会 埼玉県知事

平成 23 年度には、さいたま市とともに第三者の専門家による検討委員会を設け、需要予測や建設計画など、これまでの各種調査結果について検証していくこととしております。

さいたま市では、地下鉄 7 号線の延伸について、平成 24 年度末までに事業着手となる法的手続きに入ることを目指しております。

今後の人口減少や景気低迷など厳しい社会経済情勢を踏まえた上で、将来にわたり採算性が確実に確保できるかどうか、検討委員会でご討議をいただき、結果をとりまとめまいります。・・・

想定スケジュールと議事項目

(あくまで目安であり、検討状況、委員会のご意見等により変更)

第1回(6月6日)

社会・経済情勢&延伸線の意義

- ・ 今回の検討委員会の目的・活動内容の確認
- ・ 鉄道とまちづくりを取り巻く社会情勢に関する検討(人口減少、高齢社会等)
- ・ 延伸線の意義の検討

第2回(7月頃)

延伸線の意義&整備計画(運行計画を含む)

- ・ 延伸線の意義の検討(第1回の続き)
- ・ 延伸線の構造、駅位置、建設費等
- ・ 快速運転導入の可能性・課題、需要予測への反映方法の検討

第3回(8月頃)

まちづくり

- ・ 延伸線沿線のまちづくり
~特に中間駅周辺のまちづくり案の提示(市)とそれに対する助言~
- ・ 沿線開発効果の需要予測への反映方法の検討

第4回(10月頃)

需要予測&事業評価

- ・ 前回までの条件整理に基づく需要予測の算定と検証
- ・ 費用便益分析結果の検証
- ・ 採算性の考え方の整理
- ・ まちづくりと合わせた事業性の評価方法の検討

第5回(11月頃)

採算性・リスク&まとめ

- ・ 採算性の算定&検証
- ・ 事業リスクの検討
- ・ まちづくりと合わせた事業性の評価
- ・ 延伸実現に資する提案の検討
- ・ 報告書の作成方針の確認

報告書の確定&提出